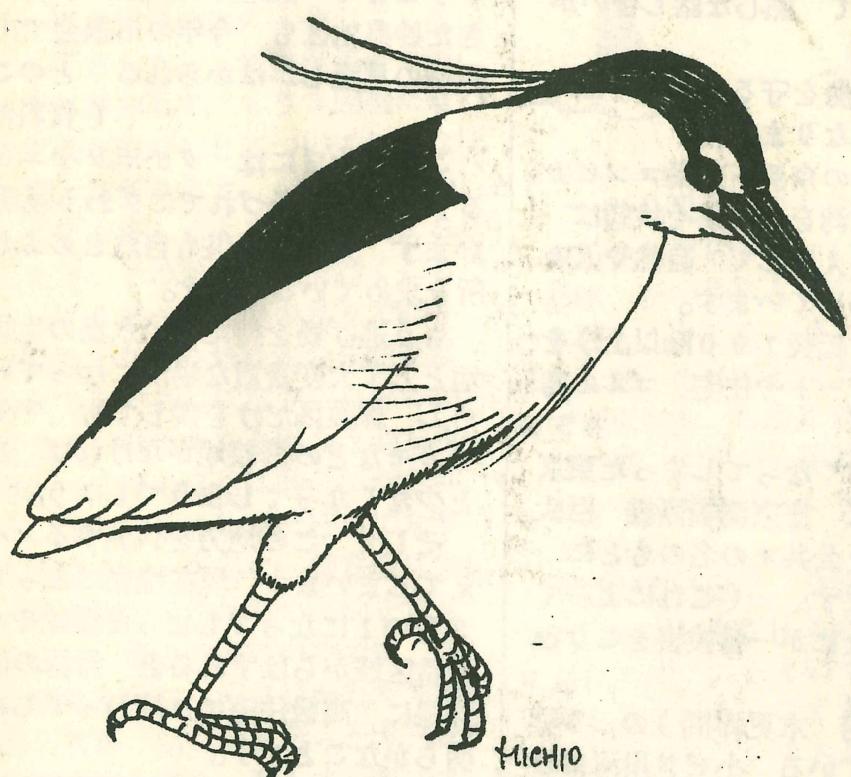


すずがも通信 20



鳥は そのきれいななき声を
どこでおぼえたのですか

鳥は そのきれいなすがたを
自分で見ることがありますか

鳥は ゆめを見るのですか
なぜはばたくのですか

それは 明日への

希望のためでしようか

鳥たちよ おおいにはばたいて
はばたいて……

諸 葉 靖 枝

はあと



—妙典の自然と 農業を守ろう—

5月には 千葉市で 約700名の全国からの自然を守る運動をしている人達によって 全国自然保護大会が 行なわれました。

クジラの問題 有機農業 千潟問題などの 13の分科会にわかれています 熱心な話し合いが 行なわれました。

私が参加した 湾の海を守る分科会では 東京湾を中心の問題となりました。

人口集中 世界最大の京浜、京葉コンビナートをかかえた 東京湾をとりまく状態は 人間の便利さとひきかえにして 自然や人々の心や身体を 追いつめています。

日本一の砂質干潟(延長100km以上)を 埋めつくし コンビナートや住宅 ゴミの島をつくってきた。

そして 本当に小さくなってしまった東京湾に 羽田空港の拡張 東京湾横断橋 巨大ゴミの島の計画が 「公共」の名のもとに おしすすめられています。(これによって だれが一番もうけ なにが一番被害をこうむるのでしょうか。)

東京湾横断橋(川崎 木更津間)の 千葉県側の予定地になっている 小びき川河口の 千潟は 鳥やカニ 貝 海浜植物などが 現在日本最大の規模で残されている 朝日新聞による 自然100選の一つにも選ばれた 貴重な場所なのです。

ぜひ 皆で下水やゴミの捨場となってしまっている 東京湾についてゴミの問題などの 身近なことから 考えて行きましょう。

雨会の季節

8月も中ばと過ぎると 北へ渡っていたシギやチドリたちが 南へ帰る旅の途中 立ち寄ってひとやすみしていきます。

しばらくさみしかった 私たちにとって なつかしい鳥たちにまたあえる 季節になりました。 クオイ 元気か 久しぶりだなあと声をかけてやりたくなる そんな気持ちがしてきます。

8月9月は、シギやチドリに会いに行く季節です みなさんもどうぞ。

東京湾の後背地として 豊かに広がっていたアシ原や 多くは水田になっていた湿地も 開発によって 住宅地などになってしまい 今や東京都では ほぼ0%となってしまって 埋立地が細々と湿地の代用をしています。

これまでかろうじて 市街化調整区域内と いうことで 湿地やアシ原 ハス田が残ってきた妙典地区も 今年の市議会で市街化調整区域の見直しがはかられる とのことです。

(資料参照)

ここは休日には クチボソやエビガニを釣る子供達や親子づれでぎわう場所となっています 大人も子供も自然とのふれあいの場所を求めているのです。

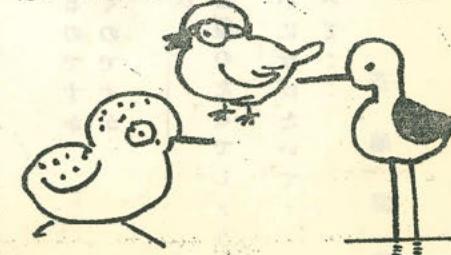
もう逃げ場を持たない水鳥の生息地や繁殖地として 大変貴重な場所になっているのです もし 保護区だけを残しても サギのエサ場やカモなどの繁殖地がなければ 水鳥はもっと少なくなってしまうでしょう。

そして この地方を代表する「ハス」が消えてしまいます 現在埋立によって十年前の3分の1になってしまった湿地やハス田が 調整区域からはずれると 行徳の他の地域と 同様に 高級住宅地に変わってしまうのは 明らかなことです。

ぜひこの地域を ハス田を残したいものです 農業を生かした(ハス田を残し) 自然公園や都市公園として残せないものでしょうか 会員の皆さんのがんと力をおかしてください。

「今日 スーパーでカブトムシが バーゲンされていました。」 一はるたか

彼(彼女?)たちはきっと よろこんでむかえてくれるでしょう。 一はるたか



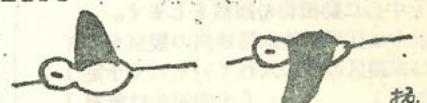
さえずり

6月12日 新浜探鳥会
感想文と
お友だちからのお便り



少し遅れてしまったので 小走りにキヨロキヨロして行くと 目の前に止ったものが大声で さえずりはじめた。「何かな」 小ワキにかかえた フィールドガイドあわててとりだし。 「オオ!ヨシキリ」 この日はたくさん出たせいかそのうちみんなは モーヨシキリ。 インドハッカもヨマドリ?も セイタカシギも見られたし 寒がっただけれど また来ます。

東京支部会員 桐谷 明子



ね

昨年8月頃 日本野鳥の会に入会して もう二年がめぐってきます。 新浜探鳥会と谷津干潟の探鳥会に参加して もう3回程になりますが まだ鳥たちのことについて知らないことがあります。 知識を持つ

いう事は 人生を楽しくするものだとだれかが申しましたが その言葉を地で行くことに踏み切って 70歳の手習いの積りで昨年から始めた 野鳥たちとのおつき合も回を重ねる毎に 鳥たちと仲良しになり 自分の健康のことも考えて 野鳥たちと出会う楽しみを持って 海と 山野の自然に触れて歩き回るということ そのこと自体が大好きになりました…(中略)…そして 探鳥会に参加する度に 何種類かの鳥たちの名前を覚えて帰る楽しみ。 堀川の電車の中では 今日も心地よい疲れと共に 今日見た鳥たちの姿と鳴き声と名前が 頭の中を行ったり来たり 忘れたり思い出したり 楽しさ一杯です。

またよろしく お願いします。

一野鳥のこと 何も知らなかった男
鶴田 徳太郎

—野鳥観察会のみなさんへ—

突然のお便りです…

私は 友の会に入っているものです(中1) けれども 少し前に神奈川県にひっこしてきました それで観察会へおうかがいする事はできません 本当に残念です。

この間 すずがも通信がこちらにとどきました…とても楽しくはいけんさせていただきました。

すずがも通信は 会費を払ったその年だけは 送っていただけですか? 送っていました なぜか これがいいです。

でしたら私も すずがも通信にたいする感想 ボニム イラストなどを送りたいと思います。

私の今のお友だちにも野鳥が好きな子は たくさんいます 私も好きです。

今 私が住んでいる所は 山や川が近くにあります 自然がとっても豊かです。

こちらでも 野鳥はたくさん見られます。

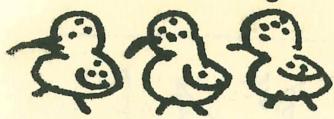
この前私が山のぼりをしていたら 小さながありました そこにはカモの親子がなかよくしていました。 私は次の日もう一度 その場所にいってみました するとカモはまたいました。 近くによってみたら…最初はにげてしまつたけれど ずっといたらなれて お友達になりました。

このようにこちらでも野鳥が見られます。 いい情報があったら おつたえしたいと思います。

…最終的の話も彼女の作品です。 勝手ながら 少々筆を加えこまいました…シメナツア…途

斎藤 靖枝

○時鳥と百舌 その二(和歌山県民話)
むかしのこと モズは酒が好きで ホトトギスから仏ダンにおまつりする 仏様を買うお金を使っていたのに そのお金で酒を飲んでしまった。 それでホトトギスが毎年その時分になると 「本尊掛けたか」と鳴くのは モズに催促をしているのだそうです。
モズはそう言われるとこまるもので ホトトギスの鳴いている間は なるべく声をたてず 姿も見せないようにしているのだそうです。
モズの顔が赤いのは お酒を飲んだからだといいますが ことによるときまりが悪いからかもしれません。(柳田國男 日本の民話)



行事案内

誰でも自由に参加できます。

○新浜自然観察会

8月14日、9月11日、10月9日

集合：東西線行徳駅前 午前10時

解散：野鳥観察舎午後2時半頃

つかに残されている 妙典地区の湿地や
保護区で カモ サギ カモメ バンなどの
水鳥を中心に動植物の観察をします。

(午前中は江戸川放水路妙典の観察をして
後は保護区の中に入れていただく予定)

参加費： (小中学生は無料)

弁当 水筒 雨具 ボウシをおわすれなら

○定例 園内自然観察会 (観察舎主催)

8/17, 8/21, 9/4, 9/18, 10/2
集合：野鳥観察舎前午後1時半(8月中は
解散：〃 午後4時頃(集合3時です)
内の観察路を 約3.5km歩きます。歩き
やすい服装 はきものでどうぞ。

○平日谷津干潟自然観察会

8月29日(月) 担当 田久保 晴孝
合：行徳駅前 午前9時 TEL 0473(96)5970
っていく物 弁当水筒観察用具ボウシなど
月下旬は シギ チドリの秋の渡りのシー
ンです。 シギチドリの渡来地 谷津干潟
チュウシャクツギ アオアシシギなどの
鳥を じっくりと観察してみましょう。

事務局より

今年度の会費を 納めて下さい。一般会員1000円 賛助会員2000円以上 ジュニ
会員(小中高校生)500円です。観察舎でお金をあづかってもらいます。
その他 絵はがき シール 鳥のマスコット 鳥の図鑑なども販売しています。

編集後(流)記-

ニサガ 生まれ 1人で?役 ……たいへん、たいへん… もうすぐ秋ですよ シギが飛んでいます(はるたか)
。タイラバが見えてる。眼鏡がくもって未よほど… 冷房がほしいよ~
夏休み増ページと思いましてが 厚橋量が足りず、いつものとあります。途

すずがも通信

発行人 谷 栄

NO. 20

事務局 木 有吉

183年8月3日発行

編集人 田久保 晴孝

振替仙台 6129

新妻 途夫

年会費 1000円

行徳野鳥観察舎

〒272-01市川市篠原4-22-11 TEL 0473(97) 9046

○小鳥のマスコット講習会(材料費100円)

8月14日(日) 8月20日(土)

午後1時半~2時間位 視聴覚室で行います

待 8/14 竹グシ 広告の紙(ツルツルした紙)

水入れ(プリンカップのようなもの)

8/20 水彩絵の具セット

14日にかたちをつくり 20日に色をつけま

す。申し込みは観察舎 蓼尾まで電話で

申し込んで下さい。40名で〆切ます。

○タナカミと虫の音を聞く会 (無料)

8月28日(日) 9月25日(日)

集合：観察舎前 午後5時

解散：〃 午後7時頃

昼間の暑さもうすらぎ 夕方の風が心地よく
なり 鳥たちもネグラに帰るころ ムクドリ
たち昼間の鳥に代って ゴイサギはおでかけ
の時間。虫たちもきっときれいな声でむか
えてくれることでしょう。

長そで長ズボンが最適 傷中電燈が必要です。

